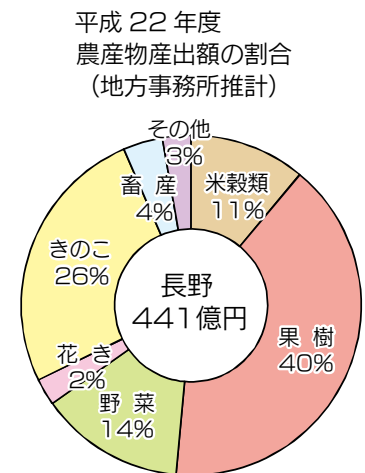


～新・感・鮮でつなげよう長野のくだもの 人と技で支えよう長野の農業・農村～

地域農業・農村の概要

■ 農業・農村の特色 ■

- 長野地域は、善光寺平と周辺の中山間地域からなり、北部の豪雪地帯から南部の少雨地帯まで多様な気候と地形を活かし、果樹、きのこ、野菜、米等、バラエティに富んだ農業生産が行われています。
- 特に果樹は多品目が生産されており、中でもりんご、ぶどう、ももは栽培面積、生産量とも県内第1位を誇ります。
- 全国的に知られているそば、おやき、おしぼりうどん等の郷土食やねずみ大根、小布施丸なす等の伝統野菜を活かした地域おこしへの取組が各地で見られ、また、観光農園や農業体験等、観光と連携した農業の展開も進められています。
- 農産物価格の低迷、担い手の減少や農業従事者の高齢化により、生産力が低下する中、特に樹園地の円滑な継承が課題となっています。
- 中山間地域においては、担い手の高齢化に加え、遊休農地や野生鳥獣による被害の増加により、農家の生産意欲や集落の活力が減退しつつあります。
- 消費者の食の安全・安心、環境、食育に対する意識が高まってきており、環境にやさしい農業への取組や農業・農村の持つ多面的機能の維持、食文化継承のための活動への支援が求められています。



■ めざす将来ビジョン ■

- 経営体自らの創意工夫により、収益性の高い経営を実践しています。意欲と熱意のある青年就農者や定年帰農者、女性農業者等、多様な担い手が夢を持って生き生きと活躍しています。また、集落営農組織や企業的農業経営体が担い手として活躍し、地域農業が持続的に展開されています。
- 県内有数の果樹産地として、消費者ニーズの高い県オリジナル品種等の生産拡大やりんご新しい化栽培が普及するとともに、樹園地の円滑な継承システムの構築が進み、持続的で生産性の高い果樹産地が形成されています。
- 産出額第2位のきのこについては、栽培技術の向上や需要に見合った生産により、安定した経営が営まれています。
- 安全・安心、環境にやさしい農産物の生産が拡大し、長野地域の農畜産物が県内外に流通し、消費者に信頼される産地が形成されています。
- 中山間地域では、集落ぐるみによる野生鳥獣被害防止対策等の取組が活発になり、農地が有効に利用されています。また、自然景観や食文化等の農村資源が継承され、都市部からも癒しを求め多くの人が訪れています。
- 地元農産物を利用した加工品の開発・販売が拡大するとともに、農商工連携や6次産業化による新たな農業・農村ビジネスの展開等、豊かな農村が実現しています。
- 老朽化した農業用水利施設や畑地かんがい施設等の計画的な更新整備が行われ、農業・農村の持つ多面的機能が十分に発揮されています。



重点的な取組方向

重点戦略1 地域の特徴を活かした多様な経営体の確保・育成

平成19年度からの5年間に120名が新規に就農しましたが、総じて担い手不足の状況にあります。特に農産物産出額の4割を占める果樹栽培においては、新規参入者や定年帰農者、女性農業者等、多様な担い手の確保による樹園地の維持や次代への円滑な継承が求められています。また、担い手の高齢化が進む中、繁忙期における労働力確保が課題となっています。

達成指標	現状 (H22)	目標 (H29)
□ 40歳未満の新規就農者数(単年度)	28人	34人
□ 新規就農者のうち果樹栽培者数	21人	27人
□ 農作業支援者数(延人数)	2,278人	3,000人

推進方策

- 県や市町村、農業団体等が連携した支援体制づくり
- 新規就農者の確保に向けた取組の充実
- 新規就農者や定年帰農者等への技術習得や経営管理能力の向上に向けた支援
- 人・農地プランの実現やリース方式等による樹園地を継承する仕組みづくりに向けた支援
- 農作業支援者の確保及び技術の向上に向けた支援



【新規就農者等へのぶどう栽培講習会】

重点戦略2 未来に挑戦し続ける競争力の高い果樹産地づくり

長野地域のりんご、ぶどう、ももは県内第1位の生産量を誇りますが、販売価格の低迷や生産資材の価格上昇等、経営環境が悪化しています。このため、消費者ニーズの高い品目・品種への転換や省力的で生産性の高いりんご新しい化栽培への取組等、競争力の高い果樹産地への変革が求められています。

達成指標	現状 (H22)	目標 (H29)
□ 県オリジナル主要品種栽培面積	706ha	1,070ha
□ りんご新しい化栽培面積	18.5ha	100ha
□ 無核(種なし)ぶどう栽培面積	304ha	620ha
□ 畑地かんがい施設の整備面積(期間内整備量)	308ha (H18~H22)	403ha (H25~H29)

推進方策

- 消費者ニーズの高い品目・品種への転換に係る支援
- りんご新しい化栽培に必要な苗木の確保支援
- ぶどうの高品質生産のための施設化の推進や、消費者ニーズに対応した無核化栽培の普及
- ももや特産果樹(あんず、プルーン等)の高品質・安定生産に向けた取組への支援
- 効率的な果樹経営に向けた生産基盤の整備(畑地かんがい施設等)への支援

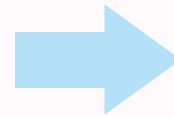


【長野県オリジナル品種 りんご「シナノゴールド」】

重点戦略3 恵まれた立地条件を活かした特色ある産地づくり

野菜、きのこ、花き、畜産等、地域の特性を巧みに活かした生産が行われ、アスパラガス、栽培きのこ、トルコギキョウは県内有数の産地となっていますが、近年の産地間競争の激化等により経営環境は厳しさを増しています。このため、一層の高品質化や低コスト化の推進、作期の拡大が求められています。また、畜産は、乳用牛に受精卵を移植し、黒毛和種子牛を生産する取組が進んでいます。

達成指標	現状 (H22)	目標 (H29)
□アスパラガス夏秋どり比率	24%	30%
□トルコギキョウ秋出荷本数	286 千本	420 千本
□受精卵移植による黒毛和種子牛の生産頭数	70 頭	100 頭



推進方策

- アスパラガスの茎枯病対策の徹底と夏秋どり作型の拡大に対する支援
- きのこの新品種・新技術の導入と経営安定に向けた支援
- トルコギキョウの秋出荷作型の拡大に対する支援
- 実需者ニーズに対応した高品質な果菜類の生産拡大に対する支援
- 受精卵移植による黒毛和種子牛の生産拡大に対する支援



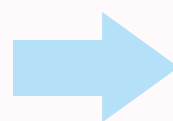
【トルコギキョウ(コサージュシリーズの新品色)】

重点戦略4 地域資源の活用と新たな付加価値の創出による魅力ある農業・農村づくり

近年、長野地域のぶどうを原料としたワインは、国内外のコンクールで入賞するなど高い評価を得ており、さらにワイナリーの新設の動きもあります。

また、農業者による6次産業化や学校給食への地域食材の供給、伝統野菜を核とした地域の活性化に向けた取組が見られます。

達成指標	現状 (H22)	目標 (H29)
□ワイン用ぶどう栽培面積	29ha	40ha
□商談会等における成約件数	0 件	30 件
□信州の伝統野菜栽培面積	5.8ha	8.0ha

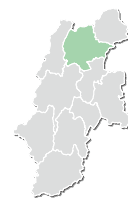


推進方策

- 遊休農地等へのワイン用ぶどう等の作付けを推進するための、基盤整備等への支援
- 販路拡大や加工品開発等、経営強化を目指す農業者の取組への支援
- 需要に応じた伝統野菜の生産安定に向けた取組への支援
- 「おいしい信州ふーど(風土)」ネット等による消費者等への情報発信や食育の推進を支援



【商談会を通じた販路拡大の取組】



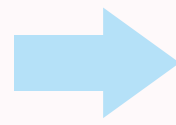
重点戦略5

中山間地域等の特性を活かした元気な農業・農村づくり

中山間地域では、農業者の高齢化が進み、遊休農地や野生鳥獣による被害が増加し、地域の活力が低下しつつあります。

一方、都市住民の田舎暮らしやふるさと志向が高まり、農村を訪れる観光客も多く見られます。さらに新幹線が平成26年度中に金沢まで延伸となり、交流人口の増加とともに観光と連携した農業・農村の振興が期待されます。

達成指標	現状 (H22)	目標 (H29)
□遊休農地の再生・活用面積(単年度)	43ha	184ha
□そば作付面積	391ha	482ha
□都市農村交流人口	39,060人	48,500人



推進方策

- そば、うめ等の作付けによる遊休農地の解消に向けた取組への支援
- 地域の特徴的な品目の振興や集落ぐるみの野生鳥獣による被害防止活動に対する支援
- 観光や食文化等農村資源を活用した生産者と消費者を結びつける都市農村交流の促進
- 広域営農団地農道整備による交通アクセスの改善



【遊休農地での農作業を通じた都市農村交流】

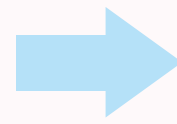
重点戦略6

環境との調和を目指した農村機能の充実

消費者の食の安全・安心や地球温暖化、生物多様性等の環境問題に対する関心が高まっており、環境と調和した生産方式の導入や農業生産活動を通じた農業・農村の持つ多面的機能の発揮、再生可能エネルギーの活用が求められています。

また、農村においても自然災害への危機管理意識が高まってきており、適切な防災対策が求められています。

達成指標	現状 (H22)	目標 (H29)
□多面的機能支払の取組面積	890ha	5,020ha
□環境保全型農業直接支援対策面積	16ha (H23)	32ha
□農業用水を活用した小水力発電の容量	7kW	37kW



推進方策

- 地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動に対する支援
- 環境にやさしい農業に取り組む農業者（組織）への技術習得支援や消費者の理解促進のための情報発信等
- 水路等の農業水利施設を利用した小水力発電施設の設置に向けた取組への支援
- 地すべり防止区域の適切な管理



【地域ぐるみで行う環境保全活動】